

第3回 緑台・陽明小地域 地域別懇談会の概要

日 時：平成23年10月16日（日）

午後15時～17時

場 所：第1自治会館

参加人数：19名



1 あいさつ（大塩市長）

昔は右肩上がりの時代と言われていたが、現在は停滞の感がある。全国で人口が減少し、高齢化が進んでいる。昔の視察はにぎやかなことをしている市町村に行っていたが、今では過疎化が進んでいるところを見に行くようになった。

みなさんは、楽しく笑顔あふれる地域にしたいという共通の想いを持って、日ごろ活動されていると思う。この懇談会を通して地域の特徴を共有して、後ろ向きでなく前向きに積み上げ進んで行ってほしい。

今年度から、地域分権推進課を新たに設けた。みなさんが地域一体となって取組まれることは、私たちがサポートさせていただきたいと考えている。

2 グループワーク

本日は、第2回目で検討した「ありたい姿」の実現にむけて、「どういう取組みをしていくべきか」、また「その主体は誰なのか」について意見交換を行った。

その後、「地域のありたい姿」を総称するもの、またその実現にむけた活動の方針などを表すものとして「キャッチフレーズ」を作成した。

《A班》 戸根さん、津田さん、後藤さん、岡本さん、桑野さん、光本さん

【ありたい姿】

テーマ	ありたい姿	取組み
高齢者の生活	高齢者が住みやすいまち <ul style="list-style-type: none"> ・ お医者さんに安心してかかれる ・ 学校で高齢者が話し合える場所づくり ・ 近くの高齢者と楽しく話し合える ・ 認知症になっても、安心して暮らせる街 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大型の介護施設(デイサービス、宿泊可能)の誘致 ・ 24時間訪問介護事務所の設立 ・ 在宅介護の施設を増やす ・ 高齢者が在宅での終末を迎える援助と、それを支える施設 ・ 元気な高齢者の遊び場と居場所 ・ 一人暮らしの高齢者が日常の食事を安心してとれるシステム(給食配食センターの設置) ・ 緑台老人福祉センターの入浴有料化(福祉財源の確保) ・ 認知症サポーターから見守りシステム

テーマ	ありたい姿	取組み
		<p>の組織</p> <ul style="list-style-type: none"> 民生委員確保のための処置改善
住環境(緑)	<p>住環境を守る緑が多いまち</p> <ul style="list-style-type: none"> 安心して遊べる公園 草花がいっぱいの街 ゴミの戸前収集を行政が行い、地域の負担が少ない街 いつまでも緑の街の景観を保っている街 公的機関、買い物が一極集中できる街 	<ul style="list-style-type: none"> 公園の清掃を地域でする 緑のパトロールは部会で、高度処理は別部署で 公園の整備を進める 緑を保つための管理をする部署を作って、守る 緑地帯・公園の桜の維持管理
学校教育と子育て	<p>安心して子育てができるまち</p> <ul style="list-style-type: none"> 若年層が住める(増加する)街 子どもがいっぱい遊べる街 子育ての心配なく、安心して暮らせる街 	<ul style="list-style-type: none"> 保育所の設置の運動を起こす 保育所を作る
防犯と防災	<p>安全で安心なまち</p> <ul style="list-style-type: none"> 小さな見守りは、近所で 交通事故のない街 災害発生時、避難を知らせる設備、体制があればいい 治安の良い安心して暮らせる街 	<ul style="list-style-type: none"> 信号を設置する 子育てが終わった 60 歳代の居住者に回覧板にて、地域の防犯・防災への参加の呼びかけ(特に男性は、70 歳代ばかりの現状) 自主防犯組織の設立 商店街の集約と、駐車場の確保から交通安全
そのほかの意見	<ul style="list-style-type: none"> 親切 6 分、お節介 4 分で、向こう三軒両隣のまち 古来の、伝統的助け合いのシステムの復元 	

【決まったキャッチフレーズ】

緑豊かで 老いも若きも 笑顔の街



《B班》 高垣さん、文元さん、倉藤さん、大村さん、藤澤さん、楠本さん

【ありたい姿】

テーマ	ありたい姿	取組み
生涯安心安全のまち	<p>地域住民がお互いに気遣い合い、ネットワークを大切にしているまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生涯安定して暮らせる街 ・ 福祉と配食センターだけでなく、民間の配食活用 ・ 隣組の意識が持てるまち ・ ゆりかごから墓場まで、すべてがまかなえるまち ・ 安心安全のまち ・ 安心に住めるまち ・ 医療が充実しているまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加したことにやりがいなどを付加する(例：防犯パトに社会見学) ・ 回覧板の回数を増やす ・ 近隣住民が挨拶しあう
若い世代も住みやすいまち	<p>子どもがのびのび安心して遊べる環境が整ったまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもが外でのびのび遊べる環境 ・ 子どもが安心して遊べる場所がたくさんある街(今は小学校だけ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き教室の有効活用(規制緩和) ・ 豊富な人材をさらに有効活用(専門性・ボランティア)
街の魅力・活気	<p>地域の自然、地域の行事なども地域住民で守り、アピールしていけるまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グリーンハイツ音頭を作り、盆踊りに活用する ・ ビオトープをモデルとして造る ・ 病院、銀行のあるまち ・ 他者がうらやむまち ・ 四季のある街、自然のあるまち ・ ある程度、雑然とした側面がないと街の活力は出てこない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然を活用した行事への参加者を増やす
世代間交流	<p>高齢者と若者もどの世代も気兼ねなく話せる場と雰囲気のあるまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者と子どもの交流 ・ 若い方が、意見が言える場があるまち ・ 昔から暮らしている方の変なルールに縛られないように若い方が上手く暮らせる街 ・ どの世代にも、居心地の良い街 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公園法の改正 ・ 児童公園を使いやすく、また特色を持たせる ・ 若い人たちにとって何が足りないのか意見を出してもらおう ・ 空き家を借り上げて、ふれ合う場を作る
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティーバス ・ 子育てしやすいまち

【決まったキャッチフレーズ】

子どもの声がこだまし 誰もが安心して暮らせる 緑のふるさと



《C班》 中島さん、大石さん、松尾さん、高田さん、平井さん、桜井さん、久恒さん

【ありたい姿】

テーマ	ありたい姿	取組み
3世代の暮らし	<p>3世代が暮らせる街 (コミュニケーションが多い)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 世代と共に暮らせる地域 ・ 高齢者が安心して住める街 ・ 高齢者が、いつも地域でおしゃべりしている ・ 働く世代や、子どもも多く、3世代のバランスのとれた街 ・ 心かよわせて、住み続けたい街 ・ 皆で挨拶し合う、声が響く街 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近所のグループでもっと関わり合いを ・ 地域の行事を学校から若い世代に知らせる ・ 子ども主体の行事計画を立案(子ども達が)
子ども	<p>子どもは街の宝だ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもが伸び伸び遊べる街 ・ 保育所のある街 ・ 子どもが遊んでいる街 ・ 陽明小、緑台小、緑中がいつまでも存続 ・ 子どもの笑顔が、いつも聞こえる街 ・ 子どもは未来の財産だ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども園の設置 ・ 幼保合体が出来ればいい
安心	<p>パトロールが行き届いている街</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 安全、安心 ・ 天災の少ない地域なので、住んでよかった ・ 防犯が行き渡っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公園の掃除を子ども達も一緒に(親子、若い人、高齢者) ・ 子どもを参加させるために親に周知、説明する
緑が美しい町	<p>緑が多く、美しい街 ~公園の管理が行き届いているまち~</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ゴミが落ちていない美しい街 ・ 緑がきれいで、くつろげる公園がある街 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3世代でクリーンアップに参加しよう ・ 過去の計画の見直し
そのほかの意見		<ul style="list-style-type: none"> ・ 緑台地区の一方通行の緩和を出来る部分からやろう ・ 緑台地区の一方通行の緩和を、登校時に対応が出来にくい

【決まったキャッチフレーズ】

世代交流で楽しく暮らそう 地域力



3 各班の発表概要

A 班

- ・ キャッチフレーズは、「緑豊かで 老いも若きも 笑顔の街」とした。
- ・ 笑顔は、安全安心を表している。緑豊かは、この地域の大きな特徴。老いも若きも、というのは、子どもだけでなく高齢者も一緒に住めるといった思いを表現した。



B 班

- ・ 「子どもの声がこだまし 誰もが安心して暮らせる 緑のふるさと」というキャッチフレーズにした。
- ・ 子どもに着目してつくった。「ふるさと」というのは、ここで生まれ育った世代は、この地域をふるさとだと思っているだろうから、それを表現した。



C 班

- ・ 「世代交流で楽しく暮らそう 地域力」とした。
- ・ 若い世代が住みやすくするために、子ども園があればいいなという話になった。また、高齢者の力を結集することも大事だと思う。いろいろな世代が住みやすい地域、ということで、世代交流とした。



課題を解決する取組みについてのワーク

後半は、「地域のありたい姿」を実現するための、具体的な取組みを考えた。
参加者の関心に沿って取組みを考えるテーマを設定し、席替えを行った。

《A班》 テーマ：高齢者

戸根さん、桑野さん、光本さん、藤澤さん、松尾さん、平井さん

地域には人材があるので、ボランティアセンターやNPOの設立ができそうである。以前はボランティアの募集パネルをつくった経験もある。買い物については、御用聞のボランティアで問題を解消できそうだ。

テーマ	具体的な課題の内容や、解決策
高齢者の買い物手段	<ul style="list-style-type: none"> ・ コープ、西友、渡辺酒 ・ 「御用聞ボランティア」を有償で行う
高齢者の居場所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 緑台老人福祉センター ・ 世代交流広場など
認知症の方の把握	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症の方を早く発見して地域で民生委員より、公的な施設、私的な施設等に教える ・ 家庭内で虐待が発生している家族の把握
介護保険の施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域包括支援センター ・ 医療、保養所不足
会員制ボランティアセンター(NPO)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティア人材の確保、人材発掘 ・ ボランティアセンター(NPO)の設立 ・ 有償化ボランティア ・ 自治会等がコミュニティバックアップ
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者が出来るだけ外へ出て人とふれあえるよう手助けする(緑台センター) ・ 在宅のまままで終末を迎えたい(可能か?) ・ 民生委員の確保

《B班》 テーマ：子育て

高垣さん、文元さん、倉藤さん、大村さん、楠本さん、津田さん、桜井さん、中島さん、久恒さん

若い人が住みやすいまちというテーマで話し合った。図書館などの施設や、子どもが自分たちで作りあげる行事があればいいと思った。保育園がない問題については、お金が絡むことでもあるので、今後考えていきたい。

テーマ	具体的な課題の内容や、解決策
誇れるところ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育(勉強)熱心 ・ 小中高校が近くになる ・ 公園が多くて子どもの遊び場が充実している ・ 自治会等の組織が整っている

テーマ	具体的な課題の内容や、解決策
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害が少ない ・ 若い方だけではなく人生の先輩がいて雰囲気が良い ・ ある程度の規律が出来ている ・ 誕生して45年経ち、みんなのふるさとになってきている
若い世代が住みやすいまち	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若い世代を呼び込むことが大切(保育、医療など若い人に嬉しい施設の充実) ・ 保育園があれば若い世代が住むという声有り ・ 医療機関の充実 ・ 大きな図書館などの施設が欲しい
保育園の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公立幼稚園制度の改革(3年保育、延長保育、保育園の役割もあればよい) ・ 松風幼稚園のこども園化(保育園と幼稚園) ・ 松風幼稚園の運営に市民参画で知恵を出す ・ どんな保育園がほしいか ・ 0歳~3歳で、保育園の必要があるか
子どもが参画する行事	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもが参画する行事が少ない(計画段階から参画してもらう) ・ 子どもの生活環境の見直し(公園のサッカー、野球等)、子どもの活性化
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有志のおじいさん、おばあさんが近所の子と遊ぶシステム ・ 若い親達の支援、歳を取ってからの地域への支援(お返し)

《C班》 テーマ：緑の住環境

岡本さん、後藤さん、高田さん、大石さん

公園管理や、空き家・空き地、景観条例など、緑をテーマとした幅広い問題について話し合った。公園管理は、地元で引き受けるなら一元化できないかなど、様々なアイデアが出た。

テーマ	具体的な課題の内容や、解決策
公園管理(遊具、緑、花、木)	<p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公園管理の体制 ・ 40年以上の樹木が大きくなり過ぎ、クレームがある ・ 自治会で管理している ・ 講演の除草や手入れをどんな方法、組織で管理するのか ・ 緑化協会のGHグループ <p>解決策など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公園管理の組織をつくる ・ 公園の使用法、管理を決める ・ 部会でクリーンアップ計画を立てる ・ 管理者を設定する。管理会社を設立 ・ GH通/筋の責任者選定と部会と連携 ・ 使用されていない公園の見直し(利用区分、老人用・子供用) ・ 公園の東屋を憩いの場所として利用 ・ 花と緑の公園
歩道管理(樹木)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生き生きクラブの歩道清掃についてメンバーが高齢化してきて、人数不足 ・ 生き生きクラブを有償に

テーマ	具体的な課題の内容や、解決策
空地、空家	
里山、河川(猪名川)	

4 おわりに

最後に、市：本荘総合政策部長よりひとこと。

- ・ みなさんの気持ち、想いをキャッチフレーズにこめていただいた。
- ・ 後半では、具体的な取り組みの入り口になるような話し合いが行われた。これから、4回5回と地域で話し合いをされるなら、市も支援していきたい。